



No. 104

発行人 渋沢 茂
発行所・事務局一般社団法人千葉県社会福祉士会
〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港7-1
ファーストビル千葉みなと3F
TEL 043-238-2866
Fax 043-238-2867
<http://www.cswchiba.com/>
E-mail: office@cschwiba.com

※ 点と線はメール配信でも読めます！

特集 生きづらさを支えよう



教育、仕事、社会的な役割など希望を叶えられず、またコミュニティの中で孤立し苦しい生活をしている方、「福祉を必要としている」方はまだ多くいます。

地域の支え手は、高齢者、障害者、子どもといった理由で、時には支え手の思いで一方通行の支援となり、孤立を深めてしまうことさえあります。

では、「受け手」、「支えて」の垣根が無く双方向の役割を持ち、安心してその人らしい生活を送ることができる地域共生社会を創るために、私たちは何ができるのでしょうか？

〈 特集 〉

2 生きづらさを支えよう

第一弾「自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会」

第二弾「ZOOM de 拡大地域集会 みんなで話そう、つながろう」

7 会員外理事から「社会福祉士会に期待すること」

10 DWAT派遣協定締結

こらむ

11 社会福祉士のわ

12 事務局便り

特集

「生きびらさを

支えよう」



前回の点と線では、外出自粛が
必要な中でソーシャルワークに
ついて特集を組み、社会福祉法人
りべるたす理事長伊藤佳世子さん
に、障害福祉サービス事業所とし
て対人援助の動きについて執筆を
していただいた。その後、伊藤さ
んから本会に、「障害の基幹型相談
センター立ち上げにあたって地域
とどうつながれるか、をみんなで
考える機会を持ちたい」と提案が
あった。

「生きびらさを支えよう」第一弾
として、「自立支援協議会と基幹相
談支援センターを考える研修会」、
第二弾として、「拡大地域集會」を
企画することとなった。

第一弾

「自立支援協議会と基幹相談支援
センターを考える研修会」



日本社会事業大学専門職大学院
准教授 曾根直樹先生の基調講演
では、厚生労働省 社会・援護局障
害保健福祉部 障害福祉課 地域生
活支援推進室 虐待防止専門官障
害福祉専門官の経験から、また、
ご自身も東松山市自立支援協議会
の委員として関わってきた経験、
政策的な観点から、実例を交え解

説していただいた。そのうえで、
市川市基幹相談支援センターえく
る長坂昌宗さん、鎌ヶ谷市基幹相
談支援センターえがお渡辺恵美子
さん、長生村基幹相談支援センタ
ー大野佐知子さん、柏市地域生活
支援拠点たんぽぽ大久保夏樹さん
から活動発表をしていただいた。

「生きびらさを支えよう」地域共
生社会を多職種で支える自立支
援協議会と基幹相談支援センター
を考える研修会」に参加して

市川市基幹相談支援センター
えくる
センター長

長坂 昌宗

(ながさか よしもと)



先ずは、今回の研修にお声かけ
いただきありがとうございます

た。基幹型から数えて十一年間に
わたる“えくる”を振り返り基本
に立ち返ることが出来たように感
じます。

曾根先生の講義を伺い「基幹相
談支援センターとは」との説明に
とてもわかりやすく、法律に基づ
く根っこの部分はこうなんだから
基幹に関わってる者はしっかりと
やりなさい！とハツパをかけられ
たように感じました。

鎌ヶ谷市えがおの実践からはと
ても面白かったというのが実感で
す。自立支援協議会の一体感を出
すためにアイデア溢れる手法が満
載で、今後どこかで使わせてい
ただこうと思いました。

長生郡市総合支援協議会の組み
立てについては一市六町でひとつ
の協議体をつくる大変さだったり
楽しさと併せて、我々には計り知
れない苦しさや面白みがあるんだ
ろうな！と勝手にうらやましがっ
ていました。また、長生村の基幹
相談支援センターにおいては、や
はり人ですかね、中心となる人が
しっかりと真ん中において仕組みが

作られていくんだなと改めて思いました。

柏の地域生活支援拠点の作り込み方に関しては、同じ都市型の部分で重なることも多く今年度から市川市においても地域生活支援拠点の立ち上げを迎え、一つの目標として参考にさせていただこうと思います。

社会福祉士会の皆さまとは同じ千葉県内のソーシャルワークを行っていく上で、いつかどこかで何かのきっかけで接点が生まれ、その時には大変お世話になることが予想されます。その際は何卒よろしくお願いします。

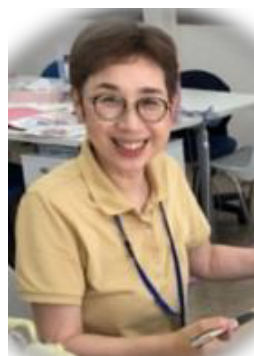


「自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会」に参加して

柏北部第二地域包括支援センター

工藤 淑子

(くどう としこ)



実は私、事業所への相談はあれど、協議会や基幹型相談支援センターといった文言としくみについてはほぼ初めて聞く内容でした。うーん、かつては障害分野にいたのになんとか敷居が高い…。

曾根直樹先生の基調講演では、実践の「もとい」となる法律の解説を、また各事業所からはそれぞれの状況、例えば8050問題、重複障害の方の課題、そして他機関との連携方法についてもお聞きしました。「個別対応のみで機能としての役割までは(至っていない)

…」また、対応する職員の「熱意任せ」といったワードもありました。

お話を聞きながら私は、三〇年前に勤務していた「授産施設」の入所者のミックジャガー(に似ていた人)を思い出していました。彼の緻密な作業は、元請業者からの信頼を確かなものになりました。相談支援センターのある今なら、ミックはどんなライフプランを立てたでしょうか。退所して独立したかもしれません。

今、OriHimeの開発者の吉藤オリイさんとかコミュニティデザイナーの山崎亮さんとか、また、福祉と経済を結び付けて雇用を創出し商売として利益を上げている

「Social Sign with Me」というスープ専門店の経営者、聴覚障害の柳匡裕さんのような人たちがジャンルを超えて福祉とコラボレートしています。そんなふうにご利用している。そんなふうにご利用している。広い視点からの支援センターが、広いジャンルとの協働の拠点となることで新しい支援のカタチのヒントが見えたら、とても刺激的でおもしろ

ろそうだと思いついています。地域包括支援センターや医療も自由自在に横断できるようになるための人脈作りが大切ですね。みなさま、ご講演ありがとうございます。

第二弾

「ZOOM de 拡大地域集会 みんなで話そう、つながろう」

遠隔方式で 大いに語り合いました！

企画部会長

秦野 隆治(はたの りゅうじ)

(概要)

先日一〇月一六日金曜日、午後七時から「ZOOM de 拡大地域集会 みんなで話そう、つながろう」を開催し、途中の出入りを含め二五人以上の方にご参加いただきました。コロナの影響で人との繋がりがさらに希薄になり社会問題化していることも踏まえ、私たち社会福祉士がいざという

きに助け合える関係づくりを止め
てはいけない、ZOOMを実地体
験してもらい地域集会再開の弾み
にしてほしいという思いで企画を
いたしました。冒頭私の方から趣
旨説明をしましたが、手元の原稿
からふと目を上げると画面上に大
勢の顔が並んでいてぎよつとい
しました(慣れが必要ですね)。続
いて渋沢会長からZOOMを使い
千葉県各地とつながった第一弾の
様子を報告してもらいました。そ
していよいよ交流を開始。まず一
人ひとりから自己紹介とZOOM
についてのエピソードや考えを聞
き、全員で共有いたしました。後
半は地域毎に分かれて「自分たち
の地域でやるならどんな風にな
るか」をテーマにしてグループ
トークでした。五つのグループで
活発な議論をしてもらいました。
以下、私がメモした会員の声です。

(意見)

「会えなかった人に徐々に会え
た、嬉しい」「なじむには時間がか
かる」「全国誰とも話せるので地域

集会の地域性が抜けていく、今後

はテーマ別に集会を行うのもいい
のでは」「遠い人と話せることは、
地域福祉の向上にも繋がる」「引
込み思案だけどこれなら参加しや
すい」「一人でしゃべっていて他の
人の反応が見られないと自信を無
くしてしまう。聞いている側のリ
アクションが大事」、「ZOOMは
よく使っている、しかし使わない
人を排除するのはよくない、強制
してはいけない、両方参加できる
形が理想」「ZOOMは毎日使って
いる。利用者が率先して使って
職員は傍観するぐらい」「私はア
ナログ。今もどうするのかわから
ない」「緊急時、離れていても組織
として意思決定が下せるようにな
る。重要な変化である」「便利だが、
家の中に閉じこもることにつな
がる、リアルな体験が減る」：ほん
の一部ですが、私はとても勉強に
なりました。地域集会担当役員と
しては、単に再開を促すのではな
く、新しい発想で地域集会を考え
ていかなければならないと強く感
じました。

(アクシデント)

当日、グループ分けを行うブレ
イクアウト機能が設定ミスで動か
ないことが発覚し、一度全員退出
し、入りなおすことを行いました。
電脳空間での民族大移動とでもい
いますか、約束の地にたどり着け
た人、取り残された人、あえて残
る人など様々でした。ご迷惑をお
かけしたことについてはこの場を
借りて陳謝いたします。ホスト役
の山口委員長には大変な心労をか
けてしまいました。アクシデン
トを乗り越えた結果、結束感も強
まり、グループトークもいっそう
盛り上がりました。皆様お疲れさ
までした。

次の展開については部会員、地
域世話人とよく協議して企画をし
てまいります。今後もしよろしくお
願いします。



拡大地域集会に参加して

佐倉・四街道・八街地区
世話人

古澤 充健(ふるさわみつたけ)

一〇月一六日のZOOMを利用
した拡大地域集会に参加した。二
〇二〇年はコロナウイルスの影響
を受けたことは否定しようがな
い。そのような情勢の中で、各地
の地域集会も停滞している状況と
聞く中での今回の集会であった。

オンラインでの集会のメリット
を大いに感じることできたのは、
圏域に縛られず千葉県内どこ
からでも(中には神奈川県から参加
者もいた)参加できることである。
集合研修でお会いして以来何年か
ぶりに再開した圏域を異にする社
会福祉士の方や、多くの初めまし
ての方々に出会えた。

今後地域集会の一つの形態とし
てオンラインの地域集会も選択肢
に入ってくるであろう。またZO
OMで配信するハイブリッドな形
態になっていくのかもしれない。

実際、佐倉地区と印西地区は合同地域集會をハイブリッドな形できないか検討中である。詳細が決まり次第告知していくので、その際には多くの社会福祉士の方の参加を期待したいと思っている。

話が逸れてしまった。
メリットを感じる一方で、ZOMで配信するにあたっては、技術的な面で慣れないことが多く、まだ理解が追いつかないところもある。「習うより慣れろ」ではないが、場数を踏んでいく必要があると感じた。

今回の拡大地域集會でも予想外のトラブルがあり、大幅な時間のロスが見られた。今回のトラブルから得られた知見を共有していくことや、また今後の経験の蓄積も共有化し後続に伝えていくことが大切だと感じた。

ところで、今回の地域集會は無料で参加できたものであったが、今後ZOMを用いて集會等を行うのであれば、参加費の徴収について、振り込み等を用いなければならない。透明性のある集金方法

の在り方なども検討していく必要があると考えた次第であった。

ZOM de つなごう
拡大地域集會に参加して

長生・夷隅地区

世話人

河野 規子（こののりこ）

拡大地域集會に参加して、率直な感想は、沢山の人前で話すことが久しぶりでやや緊張しましたが、参加者さんと、画面越しながらも顔を見て近況を話して、同じように対応に模索されているお話をお聞きすることで、お互いに励まし合えたように感じられました。準備していただいた委員さんありがとうございます。

色んな参加者さんの声をお聞きし、共通して出たメリットは、地域に関係なく開催できる点でした。これなら県内の地域集會にどこでも参加でき、ゲストもお招きしやすいかなと思いました。一方、課題として、オンライン化するこ

とで、個々の環境整備が整いきていないのも現状で、参加したくても難しい状況の人もいるということでした。自身もこの機能を手く操作と進捗ができるか不安がありましたので、実際に社福士会のZOMの整備体制や他地域の世話人さんらと意見交換ができて良かったです。

今回でまたZOMの機能を知る機会にもなりましたし、皆さんのオンラインの利用状況もお聞きし、積極的に研修会や会議で活用され出していることが知れたことも刺激的でした。試行錯誤のオンラインではありますが、コロナが終息しても良いツールは残るだろうし、SNS、チャット、バーチャル等の色んなプラットフォームが進化していく時代に、将来の私たちの現場にも、日常的に使うツールがもっと出てくるかもしれないと思うと、今までの仕事に幅が増えてくるという期待もあります。上手に有効活用し、相談支援や社福士会活動で活かしていけたら良いなと思いました。

星槎大学四年
小倉 麻美（おぐら まみ）

この度はZOM de 拡大地域集會に参加させて頂きありがとうございました。今回初めてZOMを使つての拡大地域集會を開催されたとのことで、ICTを活用した集會や研修、さらには支援を今後さらに期待したいと感じる機会でした。

今回、参加して感じたのはZOMでの開催方法は世代によって得意・不得意がわかるなということ。グループディスカッションで一緒にしたメンバーは若い方々であり、既に現場でZOMを積極的に取り入れていらっしゃる。そうした方々のノウハウを、ZOMをはじめICTを苦手とする方々に共有することが支援の幅を広げるのではないかと感じました。特にコロナ禍ではリアルなコミュニケーションが制限されています。ICTの活用が強く求められていると考えます。

次に感じたのは「困りごとがな

いと市民と社会福祉士さんは出会いことつてないの？」ということ。ここでは社会福祉士さんを「必要な社会資源に繋げてくれる困りごとのおたすけマン」と定義してみます。私の周りには、精神的に追い詰められながら育児をする奥様を支える旦那様たち、シングルマザーで頑張る友人、精神的に不安定な親から離れて自活する大学生などがいます。彼らの話を聞いていて感じるのは、「心がギリギリの状態である」ということです。コミュニケーションが希薄な社会の影響もあると思います。心がギリギリであるということは、

いつ今の生活から崩れてもおかしくないということ。今すぐには支援は必要ないかもしれない。けれども、いつ必要になるかはわからない。そうした層が、日頃からちょっと気軽に繋がっておける、抛り所のようなものがある。よいと考えました。例えばそれがtwitter やインスタグラムでちょっとフォローしておくのであるとか、公式LINEで時々メッセージ

ジが送られてくるのであるとかでもよいと思います。様々なツールを利用して市民と社会福祉士さんが広く繋がる必要があるのではと考えた時間でした。

拡大地域集会の新しいかたち

広報部会

大橋 美和（おおはし みわ）

自宅のパソコンの前でやや緊張しながら、拡大地域集会のZOOM M I Dを打ち込みました。今まで、エリア別の地域集会には、地域内のネットワークづくりや点と線の取材等で何度となく参加したことがありますが、拡大地域集会への参加は初めてです。チラシやホームページを見ては県内各地の方と交流ができて楽しそうだなと思いつつも、なかなか重たい腰が上がらなかったのです。更には新型コロナウイルスの影響で感染リスクを軽減しながら過ごすことが日常となってしまった今となっては、私用で出掛けることそのもの

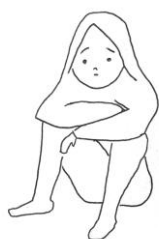
の敷居が高くなってしまいました。その点、今回の拡大地域集会はオンライン開催ということが、参加の大きな決め手となりました。

私たちソーシャルワーカーにも日々の暮らしがあり、常に学びに對する志を高くキープすることが難しくかったり、時間そのものを捻出することが出来なかったりする時だつてありますよね。学びたいけど、仲間と出たいけど、今はそんな気分にはなれない。家庭が、仕事が忙しいから。様々な理由で一度止まった足をまた動かすのは、なかなかしんどい作業です。

新型コロナウイルスの影響は大きく、ネガティブな出来事もたくさん起こりますが、オンラインが普及せざるを得なくなった状況はポジティブな変化だと思えます。オンラインの利点、欠点はあるですが、自宅や職場などの生活圏内からアウトリーチできる可能性を感じる事ができました。そして、久しぶりにお会いする面々や、新

たな出会いが、私自身の数年間立ち止まっていた足を、少しだけ前に出してみるかという気分させられました。

拡大地域集会を企画運営してくださった皆様、当日画面越しにお会いした参加者の皆様、楽しい時間をありがとうございました。



会員外理事から
「社会福祉士会に期待する」と

前号の点と線では、会員の中から選ばれた理事十五名と、監事二名の自己紹介を掲載しました。

今号では、千葉県弁護士会、精神保健福祉士協会、医療ソーシャルワーカー協会、日本ソーシャルワーク教育学校連盟、成年後見センター・リーガルサポートから推薦いただいた外部理事五名の方に執筆をお願いしました。

千葉県社会福祉士会では、本会の正会員ではない立場の方にも理事となっていたいただき、多方面からの意見をいただいています。



【千葉県弁護士会】

弁護士

若林 義和

(わかばやし よしかず)



1 推薦団体の紹介

私は、千葉県弁護士会に五十程度ある委員会のうち「高齢者・障がい者支援センター」という委員会から推薦されました。なお、私を含む弁護士は、日本弁護士連合会に加入しなければならず、また、地方裁判所の管轄地域ごとに一つの単位会（千葉県弁護士会等）が設けられており、こちらにも加入しています。

高齢者・障がい者支援センターは、高齢者及び障がいのある人を支援する事業を行っている委員会です。平成一二年に成年後見制度

が導入された際、千葉県弁護士会として、成年後見に関する支援業務を行うために設置されました。現在では、家庭裁判所に対する成年後見人等候補者の推薦、成年後見業務等に関する研修及び情報交換、家庭裁判所との意見交換会、及び成年後見制度利用促進基本計画に向けた取り組み等の成年後見制度に関する活動を行うとともに、高齢者虐待問題等、高齢者及び障がいのある人の権利擁護活動に取り組んでいます。

2 社会福祉士会に期待すること

今後、超高齢化社会を迎えるにあたり、社会福祉士の方々の重要性がますます増していくと考えています。社会福祉士会においては、高齢者、障がい者という社会的弱者の方のために、会員の専門知識の向上の方策を取って頂くとともに、弁護士会を含め多職種・多機関と連携を図って頂くことを期待しています。

【精神保健福祉士協会】

医療法人白百合会

市原メンタルクリニック

精神保健福祉士

片山 純(かたやま じゅん)



一般社団法人千葉県精神保健福祉士協会からの推薦で今年度より

外部理事を務めさせていただきます(医)白百合会 市原メンタルクリニック勤務の片山です。主に精神科デイケアの運営に携わっています。今まで協会からは近藤が務めてまいりましたが、任期終了に伴い、「次世代に任を引き継ぎたい」という近藤の想いもあり、外部理事交代という流れになりました。当協会は千葉県内の精神科領域に関わる保健所相談員と精神科病床のある病院に勤める精神科ソーシャルワーカーを中心に一九

七二年に発足した千葉県PSW協会を母体に二〇一五（平成二七）年に一般社団法人として発足しました。全国組織である公益法人日本精神保健福祉士協会千葉県支部を内包する形で運営をしています。現在の会員数は約四二〇名です。

ご存じのように、活躍するフィールドは精神科領域にとどまらず、皆様と重なる部分も多くあり、社会福祉士とダブルライセンスの会員も多くいます。私自身は協会内の組織整備や会計などを担当しています。

社会福祉士会に求めることとしては、これまでもそうですが、三団体合同研修などの共同研修を続け、対人援助としてのソーシャルワークの根底の部分をしっかりと共有し、ソーシャルワーカーとしてアクションを起こさなければならぬ時に協働していききたいと考えています。また組織整備についても参考にさせていただきたいと思っております。

コロナに揺れ、変革を余儀なくされている社会で、ソーシャルワ

ーカーが果たさなければならぬ役割も大きく重くなっているこの時期に、様々な意見交換ができればと思っております。よろしくお願ひします。

【千葉県医療ソーシャルワーカー協会】

千葉大学病院地域医療連携部
ソーシャルワーカー

葛田 衣重（くずた きぬえ）



1 団体紹介

千葉県医療ソーシャルワーカー協会は、一九六〇年に前身の千葉医療社会事業協会が発足しました。以来、保健医療分野に勤務するソーシャルワーカーに必要な知識を提供し、実践を共有し、専門性を担保する専門職団体として会員を

サポートし関連する団体と連携して対象者を支援しています。二〇一七年に一般社団法人化し、千葉県医療ソーシャルワーカー協会となりました。会員数は約五百人、主に医療機関に勤務するソーシャルワーカーで構成されています。今年創立六十年を迎え、二〇二一年六月には日本医療社会福祉協会の全国大会を控え、柳田会長以下理事、実行委員が準備を進めています。社会福祉士会の皆さまのご参加をお待ちしています。

2 社会福祉士会に期待すること

災害支援と権利擁護です。昨年、台風による甚大な被害を受け、ぼーっと（すみません我が事です）生きてきた千葉県人にも火が点きました。災害を「我が事」とし、

「平時からの備え」を重視する動きが活発になっていきます。日本医療社会福祉協会活動の一環として二〇一六年熊本地震発災二週間後に現地に入りました。災害支援活動におけるソーシャルワーカーの役割の重要性・必須性を痛いほど

実感しました。災害支援（特にD W A T）のリーダーシップを期待します！

医療現場は、病や障害を契機に社会的弱者の脆弱性が露呈する領域です。医療ソーシャルワーカーも人権意識を高め、権利擁護に力を入れなければなりません。地域社会のあらゆる場面で人権擁護に取り組みされている社会福祉士会に学び、活動に協力したいと考えます。どうぞよろしくお願い致します。

【日本ソーシャルワーク教育学校連盟】

淑徳大学准教授

山下 興一郎

（やました こういちろう）



一般社団法人日本ソーシャルワ

ーク教育学校連盟（ソ教連）は、平成二九（二〇一七）年四月一日に三団体が合併して誕生した団体で社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉教育を行っている学校で組織されています。ソ教連では、「新たな社会福祉士養成カリキュラムにおける教員研修のあり方に関する調査研究事業（厚労省令和二年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金）」が実施されます。事業内容の中に、地域ブロック、都道府県域での講習・研修実施体制の構築とネットワーク形成があります。ブロック会議の設置目的は、都道府県内等で、養成校・職能団体・事業者組織が社会福祉士・精神保健福祉士等福祉人材育成を協働して取り組むプラットフォームを主体的に構築し、地域を基盤とした包括的支援体制の中でそれぞれが相互補完しあい、人材育成と確保に取り組むこととされています。地域共生社会に向けて、社会福祉士会には、ソ教連に加盟する養成校の研究者と共に、市町村の「重層的支援体制整備事業」

への協力も含め、ソーシャルワークの機能を十分発揮できるように現任者を中心とした人材育成がますます重要になると思います。ソーシャルワークは社会福祉士だけのものではありませんが、社会福祉士資格をもつ専門職が豊富な知識と技術を駆使し、地域共生社会の実現に大いに力を発揮してほしいと思います。

【成年後見センター・リーガルサポート】
リーガルサポート千葉県支部
司法書士
山田 亘彦（やまだ のぶひこ）



私は、先の定時総会において、成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部の推薦による外部

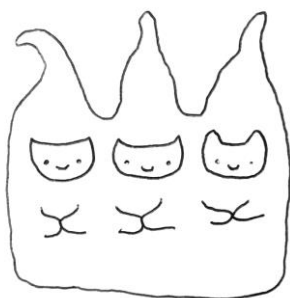
理事として選任されました司法書士の山田亘彦です。

所属している成年後見センター・リーガルサポートについて紹介させていただくと、全国組織として、一九九九年一二月に、高齢者・障がい者等が自らの意思に基づき安心して日常生活を送ることができるよう支援し、もって高齢者・障がい者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与することを目的として、司法書士によって設立された組織で、全国に五十支部・約八千四百名の会員が所属し、うち、千葉県支部では、約二八〇名の会員が所属し、約二千百件の高齢者や障がい者の皆様の後見人等としてかわり、身上監護と財産管理の役割を担っている組織です。社会福祉士会に期待することとしては、社会福祉士の方々、福祉の専門家として多岐にわたる分野でご活躍され、人々の生活に寄り添っていただける支援をされていると思います。さまざまな会員の方々が所属される社会福祉士会に期待することは、会員の方々が

日々の業務に安心して取り組むことができるように、社会福祉士会としての事業に取り組んでいただきたいと思います。

そうした社会福祉士会の事業が、積み上げられていくと、社会福祉士の支援の輪が広がり、社会の期待に応える循環に繋がるのではないかと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。



理事会はホームページでの議事録掲載だけでなく、毎回傍聴できます。傍聴席に参加希望の場合は、コロナ対策をしっかりとったうえで準備をしておりますので、事前に、事務局までお問い合わせください。

DWAT派遣協定締結

七月三十日、本会は、県、県社協、福祉関係団体と千葉県災害福祉支援チーム（千葉県DWAT）の派遣に関する基本協定を締結した。

〔目的〕 大規模災害時に避難所へDWATを派遣し、要配慮者への支援を行うもの。

〔協定締結者の役割（平時）〕

千葉県・チーム員の登録・研修・訓練、情報交換

県社協・チーム員の研修・訓練、情報交換

福祉関係団体・会員に対するDWATへの協力依頼、情報交換

〔協定締結者の役割（災害時）〕

千葉県・待機依頼、派遣依頼、派遣決定

県社協・派遣計画策定

福祉関係団体（又は協力法人）…派遣可否の報告

※協力法人・・・協定締結団体の会員施設を所管する法人

〔チーム員の要件〕

協定を結んだ福祉関係団体に所属する個人会員や、会員施設等とおして届出のある福祉専門職

十月に実施された第一回チーム員登録研修受講者百人のうち、本会経由の受講者は二人、受講者の保有資格のうち社会福祉士が二十七人。



こゝろむ

「筋肉は裏切らない」

焼肉食べ放題「致しません。」特定保健指導「致しません。」群れを嫌い、権威を嫌い、束縛を嫌い、専門職のライセンスとインターネットの知識のみでダイエットに挑む。

一日目（ルーティン）

できる男の朝は早い。リングフィットアドベンチャーで六十分汗を流していたが、子どもに任天堂switchを取り上げられたため、ウォーキングと筋トレに切り替える。どんな状況変化にも即座に対応するこの柔軟性はぜひ見習いたい。昼食は木綿豆腐。100g当たりたんぱく質8g以上がお勧めだね。味？なにが食べたいかではないんだよ。食事とは栄養を補給するトレーニングだからさ。

二日目（プロテイン）

プロテインを買いにいつもの店へ。1kg5500円が二袋同時購入で15%引き！？恐ろしく巧妙な在庫処分。俺でなきゃ見逃しちゃうね。サプリメントも高い。BCAA、EAA、クレアチン、カルニチン・・・

300gで5000円位。人間とは金をかけて太っておきながら、倍の金をかけて痩せたがる。なんと業の深い生き物なのか。

三日目（ジレンマ）

ダイエットとは何か？消費熱量（基礎代謝＋運動）が摂取熱量を上回れば痩せる。が、痩せると筋肉が分解され基礎代謝が下がる。痩せるために太るジレンマが生じるのだ。ただし私のような達人になると対策済だけだね。トレーニング以外は極力動かない（筋肉のため）、お腹を空かせないように常時何か食べる（筋肉のため）、食べたらずぐ寝る（筋肉のため）、マッスルのために生活を犠牲にしているのになぜ痩せないのか！？謎である。

四日目（魅了〜美の追求）

長続きするコツは何か？自分に嘘をつけない環境に追い込むことだね。回廊とフジヤマの如く隆起した上腕二頭筋に参拜も良し、僧帽筋から脊柱起立筋にかけて出現したクリスマスツリーにワインで乾杯も良し、腹直筋と腹斜筋が奏でるちぎりパンを愛でるも良し。

社会福祉士の

わ

白井駅前地域包括支援センター
社会福祉士

櫻田 奈美子

(さくらだ なみこ)



こんにちは。白井駅前地域包括支援センターの櫻田奈美子と申します。

私は以前国内の某ディーラーで勤務していました。そんな私が、地域包括支援センターで働くことになった経緯をお話したいと思います。

華やかで、毎日大金が目の前を

瞬間でした。

通り過ぎていくこと八年。「商売としてでなく、ただ思いやりで働ける仕事はないのか」と考えたことをきっかけに、母から社会福祉士という資格を聞いたのが始まりで、すぐに次年度の入学試験を受験。その年度末に退職し専門学校へ入学。一年通学し無事に社会福祉士を取得しました。しかし、具体的にやりたい職種がないまま飛び込んでしまったため、就活の際はピンと来ず……。卒業後は就職をせず、興味がある分野探しを始めました。最も興味が薄い高齢者分野から挑戦。消去法でした。選んだのは特養の介護職のパート。初の介護職。やってみると、まあ楽しい！業務がというよりも利用者とのおしゃべり。突っ込みどころがありすぎて、同年代と下手に関わるよりもツボで。認知症を愛おしく感じた

力になりますと、受けさせていただけました。

単純な私は「高齢者分野一本でいく！」と決意。たまたま近所の特養で相談員を募集しており、少し資格を活かせるかなと考え応募。残念なことに募集は終わっていました。後日、同じ法人で白井市にある特養の施設長から電話が。話したいと呼ばれ、その場で白井市の特養の相談員に採用していただきました。相談員も楽しかったです。利用者さんとの距離は少し離れてしまったけど、その代わり多くの介護職員と関わる機会が増え、また病院が併設されていたので医療面も多く学べました。一年半経った頃、施設長から「社会福祉士の資格活かしてみない？」と話が。

巡り巡って今年の四月、まだまだ半人前の私ではありますが、管理者として勤めさせていただくこととなりました。より地域の方が相談しやすい地域包括支援センターを！と目標を掲げ、素敵すぎるメンバーで毎日奮闘(ほぼ和やかに)しております。

聞いてみると、うちの法人は委託包括として運営しているのだが、社会福祉士の枠が空くのでやってみないか？というものでした。十秒ほど考えて断りました。相談員としてもう少し学びたかったので。数週間後また声がかかりました。今度は「募集が来ないかもしれない」と。そういったことであれば

このバトンを繋げてくださった若林さんは、それはもう大先輩であります。若林先輩をはじめ、他の先輩たちから勉強させていただきながら、社会福祉士として、人として成長していきたいと思っています。

事務局便り

早いもので、今年も残りわずかとなりました。1年前には誰も想像していなかった今を、皆様それぞれの場所で、日々様々な対応をされていることと思います。新型コロナウイルス感染症だけでなく、風邪やインフルエンザなど召しませぬよう、くれぐれもご自愛ください。

研修等・行事のお知らせ

ばあとなあの研修等につきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、政府および千葉県の方針など今後の状況に基づき、検討のうえ、開催、延期、中止等をホームページにてお知らせいたします。ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

千葉県社会福祉士会ホームページ：<http://www.cswchiba.com/>

会員の皆様へお願い

お名前・ご住所・電話 FAX 番号・お勤め先等が変更となった場合、変更届の提出が必要です。

入会時と変更がある場合は、お早めに手続きをお願いいたします。

※変更届は会員名簿巻末に準備がございます。FAX 受付も可能です。事務局までお問い合わせください。

ようこそ！千葉県社会福祉士会へ

氏名	居住地	勤務先	氏名	居住地	勤務先
富島 理恵子	我孫子市	—	山勢 祐二	我孫子市	(福) 皐仁会 (特養) けやきの里
寺川 大介	船橋市	(有) ツインズ	佐藤 和恵	千葉市	(福) 千葉市社会福祉協議会
寺田 清美	—	(福) 佐倉市社会福祉協議会	伴 火穂	我孫子市	東葛看護専門学校
村岡 輝慶	柏市	行政書士・社会福祉士事務所あすなろサポート柏	小島 裕子	—	(医) ふけ会 富家千葉病院
本田 愛美	船橋市	(医) ふけ会 富家千葉病院	伊堂寺 憲一	野田市	—
吉田 高	旭市	(株) 楽天堂 楽天堂リハビリデイサービス香取	市川 文代	佐倉市	—
根本 彰子	印西市	印西市印旛地域包括支援センター	佐藤 香織	柏市	未来型結婚相談所シュクル
高橋 史也	柏市	—	齊藤 仁史	佐倉市	(特非) コミュニティカフェ れんげ&ラッキーハウス
鈴木 日出夫	柏市	—	沢田 綾子	千葉市	—
伯ケ部 大輔	木更津市	—	清水 穰	千葉市	千葉市中央区社会援護課
市原 光明	大網白里市	(福) ワーナーホーム山武プリオ	山田 茜	流山市	おおたかの森病院
高師 利夫	いすみ市	—	堀江 好美	—	—
準会員			準会員		
二瓶 陽子	柏市	—	井口 勉	八街市	—
加藤 寿子	印旛郡栄町	—			

※正会員登録書「点と線掲載の可否」の項目で、可に○を頂いている方のみ掲載しております。(順不同・敬称省略)

令和2年10月20日現在の会員数

正会員 1,512名、 準会員 6名、 賛助会員 2名 合計 1,520名